



国公立大前期日程試験終わる — 3年生 —

国公立大学の2次試験(前期日程試験)が2月25・26日、全国164大学563学部で実施されました。文部科学省によると、2次試験全体の確定志願者数は47万1,644人。倍率は昨年と変わらず4.7倍です。2次試験全体の内訳は、国立(82大学)が昨年より0.1ポイント減の4.2倍、公立(82大学)が昨年同時点より0.1ポイント増の6.4倍。学部系統別では、人文社会4.9倍、理工4.3倍、農・水産4.5倍、薬・看護5.5倍、となっています。

本校3年生の約45%の生徒が受験した鹿児島大学の前期日程平均志願倍率は2.7倍。1日目の25日は天候にも恵まれて、大きなトラブルもなく無事受験を終えました。受験生は直前まで授業のノートや対策プリント、参考書等に熱心に目を通していました。吉報を待ちましょう。

前期日程の合格発表

- ・公立大:3月1日から9日まで
- ・国立大:3月6日から10日まで

後期日程に向けて始動 — 3年生 —

25日に前期日程試験を終えた3年生は、翌日から中期・後期日程試験に向けて、再スタートしています。

国公立大の後期日程では、多くの大学が小論文試験を課しています。前期日程までは学科試験の対策に追われるため、ほとんどの3年生にとって大学別の後期小論文試験対策は前期日程終了後となります。26日に中期・後期日程試験に向けての説明会も行いました。

本校では1年次から朝日子(総合的な学習の時間)で、小論文学習に取り組んできました。3年間の蓄積は後期試験の対策に生きてきます。これまで使用してきたテキストや小論文模試、一読三嘆なども見直しながら小論文試験対策に取り組みましょう。

個別学力試験

- ・中期日程(一部の公立大):3月8日以降
- ・後期日程(国公立大):3月12日以降

自主的な学習に取り組もう — 1・2年生 —

学年末考査が終わりました。当面のテスト勉強から解放され、1・2年生にとっては比較的ゆっくり過ごすことができる時期です。今年度の反省や新年度に向けての準備はできていますか。

3月は高校入試に伴う自宅学習期間や春季休業のため、授業日が少なくなります。このような時期こそ、「自主的な学習にいかに取り組むか」が重要です。

1年生のこの時期は、自主的に学習する時間を長く取ることができる「学力充電の期間」です。各教科の課題にしっかり取り組むとともに、苦手分野の克服に努め、新年度に備えましょう。

2年生は受験まで残り1年を切りました。この時期は「3年生ゼロ学期」と考え、受験生になりきらなければなりません。受験を見据えた自主的な学習に取り組むとともに、センター試験の仕組みなど入試制度を理解しておくことも大切です。合格に向けてひたむきに頑張る先輩の姿を見て、今、自分はどうかあるべきか感じとって欲しいと思います。また、進路指導室には3年生の受験報告書や入試問題があります。閲覧できますので、訪ねてください。

1月の模試結果から現在の自分の学力・弱点を確認して、3月の学習計画を立ててみましょう。



調査書発行について — 3年生 —

3月中は、担任の先生に相談して発行してもらってください。

4月以降、調査書が必要な場合は、事務室受付で「証明書交付申請書」を提出の上、個人情報保護法に基づき、本人確認のため身分を証明する書類(健康保険証等)が必要となります。有料となることにも注意して下さい。

詳しくは、本校ホームページをご覧ください。

<http://chuo.edu.pref.kagoshima.jp>

学校(代) 099-226-1574

【3学年部から】

51期生の現状と課題

1 卒業おめでとう！

諸君が本紙を目にしているのはおそらく2月29日、卒業式予行の日であろう。去る25、26日の前期試験を無事終え、翌日の卒業式を控えた現在、緊張の中にも喜びに包まれている瞬間であろう。

まずは、51期生の諸君、卒業おめでとう。

かけがえのない3年間を共に過ごし、鹿児島中央高校を母校とする喜びと誇りをかみしめてほしい。担任、副担の先生方も、諸君を無事送り出すことができることを嬉しく思いつつ、一抹の寂しさを感じているところである。

2 今後の過ごし方について ～最後までチャンスはある！～

○中後期試験に向けて

後期日程試験の欠席率は例年54～55%（国公立大学平均）に上る。欠席率60%を超える学部学科も多く、最後まで粘って、厳しい判定から合格していった先輩方も少なくない。決して妥協することなく、納得できる進路が決定するまで、最後の最後まで頑張ってください。

中後期日程試験に向けての指導可能日・時間は以下の通りである。高校入試などの関係もあって、限られた時間なので、担当の先生と事前に指導時間を確認しておくこと。

3/2（水）～4（金）終日、3/7（月）午前、
3/10（木）・11（金）16:00～（化学講義室）

○追加合格について

前期日程試験または後期日程試験を受験した大学に欠員が生じた場合、3/28（土）に電話で追加合格の連絡がある。入学志願票に記載された連絡先に大学から連絡があり、その場で本人が入学の意思を伝えることになる。残念ながら、前後期の国公立大学に不合格だった場合、当日は自宅で待機しておくこと。

○その他

合格者の中には、合格の報告や挨拶のため登校したいと思う人がいるだろうが、中後期日程試験に向けての指導を優先するために、挨拶は3/14（月）以降とする。また、次の①②について、担任から依頼された場合は、後輩のために、ぜひ快く引き受けていただきたい。

① 『先輩と語る会』 3/18（金）5・6限

各クラスの前期日程試験合格者に対して、担任から出席依頼の連絡がある。例年、『先輩と語る会』がきっかけで本格的に受験勉強を始めたという生徒も数多くいるので積極的な参加をお願いしたい。なお、参加の際はしっかりした服装で臨んでほしい。特に、髪はこの日までは手を入れないように。当日13時までに視聴覚室に集合してもらうことになる。

② 『進路の手引き』の合格体験記

各クラス2～3名の生徒と学年全体で数名の保護者に執筆を依頼している。3/14（月）以降に登校した際、あるいは、『先輩と語る会』で集合した際に原稿用紙を渡すので、3/28（月）の離任式当日までに、原稿を進路指導室へ提出のこと。完成した「進路の手引き」が必要な場合、5月以降に進路指導室に立ち寄ってほしい。

3 来年、再チャレンジしようと考えている人へ～捲土重来を！～

予備校から早期割引の案内が届く場合がある。本校生徒の場合、学校推薦という形で手続きをすれば同等の学費が免除される場合がほとんどである。1年間を過ごす環境選びなので、慎重かつ冷静に予備校を決定して下さい。まずは、担任に相談すること。



↑ 今年の卒業式の模様



国公立大前期日程試験終わる — 3年生 —

国公立大学の2次試験(前期日程試験)が2月25・26日、全国164大学563学部で実施されました。文部科学省によると、2次試験全体の確定志願者数は47万1,644人。倍率は昨年と変わらず4.7倍です。2次試験全体の内訳は、国立(82大学)が昨年より0.1ポイント減の4.2倍、公立(82大学)が昨年同時点より0.1ポイント増の6.4倍。学部系統別では、人文社会4.9倍、理工4.3倍、農・水産4.5倍、薬・看護5.5倍、となっています。

本校3年生の約45%の生徒が受験した鹿児島大学の前期日程平均志願倍率は2.7倍。1日目の25日は天候にも恵まれて、大きなトラブルもなく無事受験を終えました。受験生は直前まで授業のノートや対策プリント、参考書等に熱心に目を通していました。吉報を待ちましょう。

前期日程の合格発表

- ・公立大:3月1日から9日まで
- ・国立大:3月6日から10日まで

後期日程に向けて始動 — 3年生 —

25日に前期日程試験を終えた3年生は、翌日から中期・後期日程試験に向けて、再スタートしています。

国公立大の後期日程では、多くの大学が小論文試験を課しています。前期日程までは学科試験の対策に追われるため、ほとんどの3年生にとって大学別の後期小論文試験対策は前期日程終了後となります。26日に中期・後期日程試験に向けての説明会も行いました。

本校では1年次から朝日子(総合的な学習の時間)で、小論文学習に取り組んできました。3年間の蓄積は後期試験の対策に生きてきます。これまで使用してきたテキストや小論文模試、一読三嘆なども見直しながら小論文試験対策に取り組みましょう。

個別学力試験

- ・中期日程(一部の公立大):3月8日以降
- ・後期日程(国公立大):3月12日以降

自主的な学習に取り組もう — 1・2年生 —

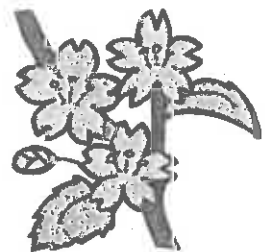
学年末考査が終わりました。当面のテスト勉強から解放され、1・2年生にとっては比較的ゆっくり過ごすことができる時期です。今年度の反省や新年度に向けての準備はできていますか。

3月は高校入試に伴う自宅学習期間や春季休業のため、授業日がいなくなります。このような時期こそ、「自主的な学習にいかに取り組むか」が重要です。

1年生のこの時期は、自主的に学習する時間を長く取ることができる「学力充電の期間」です。各教科の課題にしっかり取り組むとともに、苦手分野の克服に努め、新年度に備えましょう。

2年生は受験まで残り1年を切りました。この時期は「3年生ゼロ学期」と考え、受験生になりきらなければなりません。受験を見据えた自主的な学習に取り組むとともに、センター試験の仕組みなど入試制度を理解しておくことも大切です。合格に向けてひたむきに頑張る先輩の姿を見て、今、自分はどうかあるべきか感じとって欲しいと思います。また、進路指導室には3年生の受験報告書や入試問題があります。閲覧できますので、訪ねてください。

1月の模試結果から現在の自分の学力・弱点を確認して、3月の学習計画を立ててみましょう。



調査書発行について — 3年生 —

3月中は、担任の先生に相談して発行してもらってください。

4月以降、調査書が必要な場合は、事務室受付で「証明書交付申請書」を提出の上、個人情報保護法に基づき、本人確認のため身分を証明する書類(健康保険証等)が必要となります。有料となることにも注意して下さい。

詳しくは、本校ホームページをご覧ください。

<http://chuo.edu.pref.kagoshima.jp>

学校(代) 099-226-1574

【2学年より】

3年0期を迎えて ～生徒の決意表明文より～

今年は勝負の年にしたい。あらゆることにおいてだ。
昨年私の目標は、二年生として「中だるみ」をせずに何事においても一生懸命がんばることだった。振り返ってみると達成度は5割くらいだ。もう少しがんばれるところはあったと思うし、特に学習面においては「必死さ」が足りなかったように思う。「必死さ」を取り戻すためには、自分の中にある弱い気持ちに打ち克つ必要がある。これまでのように自分に妥協をしたり、甘えたりしてはダメなのだ。常に「前向き」に物事をとらえるように自覚し、弱い自分に負けない、打ち克つことのできる自分に成長したいと思う。



まず、スマホの使い方である。私の場合、自分の部屋への持ち込みは家族のルールでしないことにしている。しかし、ついついスマホを手にして扱っているうちに2時間ぐらいを過ごしていることが多い。(中略)
スマホを手をしているときは時間のことは気にもならないものだが、後で振り返ってみるとツイッターやライン、インターネットやフェイスブックなどに時間を相当費やしていることがわかる。それらが全て自分の中にある弱い気持ちが原因でスマホを手をしているのだった。もうすぐ3年生になる今になってようやくそれに気がついたのだ。だから、スマホの機能を必要最小限度のものに変更することにした。(中略)



私には夢がある。志望大学に合格したい。だから先生方が言うように、早いうちに受験勉強を始めたい。勝負の年に向かって現状をしっかりと見直して、受験生としての環境を整えること。ここからスタートだ…(後略)

※「受験生としての環境を整えること」とは？

なにも自分の周囲を受験モードに切り換えることではない。たしかに、それも「環境を整えること」の一端ではあるが、大事なことは君たち自身が「覚悟」を決めることだ！本物の受験生になることだ！そのためには自分の目標となる進路先を具体的に設定すること。今の学力は問わないから、自分の目標とする大学・学部・学科を決めてしまおう。それが「覚悟」を決めることであり、君が「受験生としての環境を整える」ことになる。

3月は高校入試の期間が自宅学習期間となる。そこで、この期間に受験生として「覚悟」をもち「受験生としての環境を整える」意味で、全員に志望理由書を書いてもらう。書き方や先輩の例を参考にして、じっくりと自分の進路について考える時間にしてもらいたい。

志望理由書の提出/切日 3月15日(火) 5HR時
提出先 各担任



国公立大前期日程試験終わる - 3年生 -

国公立大学の2次試験(前期日程試験)が2月25・26日、全国164大学563学部で実施されました。文部科学省によると、2次試験全体の確定志願者数は47万1,644人。倍率は昨年と変わらず4.7倍です。2次試験全体の内訳は、国立(82大学)が昨年より0.1ポイント減の4.2倍、公立(82大学)が昨年同時点より0.1ポイント増の6.4倍。学部系統別では、人文社会4.9倍、理工4.3倍、農・水産4.5倍、薬・看護5.5倍、となっています。

本校3年生の約45%の生徒が受験した鹿児島大学の前期日程平均志願倍率は2.7倍。1日目の25日は天候にも恵まれて、大きなトラブルもなく無事受験を終えました。受験生は直前まで授業のノートや対策プリント、参考書等に熱心に目を通していました。吉報を待ちましょう。

前期日程の合格発表

- ・公立大：3月1日から9日まで
- ・国立大：3月6日から10日まで

後期日程に向けて始動 - 3年生 -

25日に前期日程試験を終えた3年生は、翌日から中期・後期日程試験に向けて、再スタートしています。

国公立大の後期日程では、多くの大学が小論文試験を課しています。前期日程までは学科試験の対策に追われるため、ほとんどの3年生にとって大学別の後期小論文試験対策は前期日程終了後となります。26日に中期・後期日程試験に向けての説明会も行いました。

本校では1年次から朝日子(総合的な学習の時間)で、小論文学習に取り組んできました。3年間の蓄積は後期試験の対策に生きてきます。これまで使用してきたテキストや小論文模試、一読三嘆なども見直しながら小論文試験対策に取り組みましょう。

個別学力試験

- ・中期日程(一部の公立大)：3月8日以降
- ・後期日程(国公立大)：3月12日以降

自主的な学習に取り組もう - 1・2年生 -

学年末考査が終わりました。当面のテスト勉強から解放され、1・2年生にとっては比較的ゆっくり過ごすことができる時期です。今年度の反省や新年度に向けての準備はできていますか。

3月は高校入試に伴う自宅学習期間や春季休業のため、授業日がいっしょに少なくなります。このような時期こそ、「自主的な学習にいかに取り組むか」が重要です。

1年生のこの時期は、自主的に学習する時間を長く取ることができる「学力充電の期間」です。各教科の課題にしっかり取り組むとともに、苦手分野の克服に努め、新年度に備えましょう。

2年生は受験まで残り1年を切りました。この時期は「3年生ゼロ学期」と考え、受験生になりきらなければなりません。受験を見据えた自主的な学習に取り組むとともに、センター試験の仕組みなど入試制度を理解しておくことも大切です。合格に向けてひたむきに頑張る先輩の姿を見て、今、自分はどうかあるべきか感じとって欲しいと思います。また、進路指導室には3年生の受験報告書や入試問題があります。閲覧できますので、訪ねてください。

1月の模試結果から現在の自分の学力・弱点を確認して、3月の学習計画を立ててみましょう。



調査書発行について - 3年生 -

3月中は、担任の先生に相談して発行してもらってください。

4月以降、調査書が必要な場合は、事務室受付で「証明書交付申請書」を提出の上、個人情報保護法に基づき、本人確認のため身分を証明する書類(健康保険証等)が必要となります。有料となることにも注意して下さい。

詳しくは、本校ホームページをご覧ください。

<http://chuo.edu.pref.kagoshima.jp>

学校(代) 099-226-1574

【1 学年部】

「青写真」

1 年 2 組 担任 野村 礼

■ 青写真

①主に図面の複製に用いる写真印画法。また、その複製図。鉄塩の感光性を応用したもので、青地に白線あるいは白地に青線の印画が得られる。ブループリント。青焼き。

②転じて、心に描いている将来の姿。未来図。計画。

(『広辞苑』)

1.47—この数字に見覚えはあるだろうか。昨年、皆さんが受検した本校入試の倍率だ。ちょうど一年前、みなさんはこの数字と戦いながら、猛勉強していたことだろう。それぞれの青写真を描いて…。そして、晴れて鹿児島中央高校に合格し、緊張の面持ちで迎えた入学式から 11 ヶ月。青写真にどれほど近づけただろうか。

先日、国公立大学の前期試験が行われた。みなさんの多くが 2 年後に受験することになる。今年の平均倍率は 3.2 だった。高校受験の 2 倍以上である。この倍率はあくまでも平均であり、場合によっては 10 倍以上の学部を受験することもありうる。高校受験のように、出願してからの変更もできない。出題傾向が変わる可能性も充分ある。かつて経験したことのない受験に立ち向かっていくことになる。そのとき、プレッシャーに打ち勝ち、合格を手にすることができるかは、入学してから受験までの過ごし方にかかっているといっても過言ではない。

では、どのような過ごし方をすべきなのか。

その答えのひとつは、目の前のことを確実にやっていくことである。「なんとなく分かる」では不十分である。中途半端な理解では受験に通用しない。国語では、受験に必要な知識の全てを 1 年生のうちに学ぶ。残りの 2 年間でその知識を活用できる応用力を磨いていく。基礎なくして応用はない。1 年生の内容は 1 年生のうちに理解していこう。そのためにも受け身の勉強から脱却しよう。教えてもらうのを待つ、答えが出るのを待つような態度では力は身につかない。疑問をもつことを大切にしよう。疑問を解決しようとする探究心を養おう。きっとそれらはどんな問題にも対応できる「本物の力」となるはずだ。受験だけではない。大学でも社会でも通用する力である。その力でいつか青写真を形にして欲しい。